

学校安全実践力向上サポート事業


安全点検事例集

本事業の「安全点検アドバイザー派遣」で得られた知見をもとに、
学校園における安全点検の際に参考となる視点を取りまとめました。


- | | | | |
|----------------------|-------|----------------------------|------|
| ◆ 窓からの転落危険..... | p.1 | ◆ キャスター付ラック等の移動・転倒危険..... | p.9 |
| ◆ 重量物等の落下危険..... | p.2 | ◆ ロープ等による頸部圧迫危険..... | p.10 |
| ◆ 棚などの転倒危険..... | p.3~5 | ◆ 感電・漏電危険..... | p.11 |
| ◆ 壁面などの突起物..... | p.6 | ◆ [良好事例]安全点検に関する研修の実施..... | p.12 |
| ◆ 危険箇所等への立入禁止措置..... | p.7 | ◆ [良好事例]サッカーゴールの点検方法..... | p.13 |
| ◆ 非常口・非常扉付近の障害物..... | p.8 | | |

窓からの転落危険




 窓下に棚が設けられたため、従来の手すりでは転落防止としての機能が不足。 [A小学校]



 廊下に置かれた机・棚などが足場となるおそれ。 [H小学校]



 窓の上部にも鍵がある場合は、児童生徒等の手が届きにくい上部の鍵を常時閉めておくことで窓開けを防止することが可能。 [J特別支援学校]

窓からの転落を防止するため、足場となるような物が窓下に置かれていないかなどを確認する必要があります。

換気のため窓を開ける場合には、ストッパーなどを用いて窓を一部だけしか開かないようにするなど転落防止対策をとることも有効です。

重量物等の落下危険



棚の上に置かれた重量物。
[I 中学校]



←棚の上に無造作に
様々なものが置かれている。
[F 中学校]

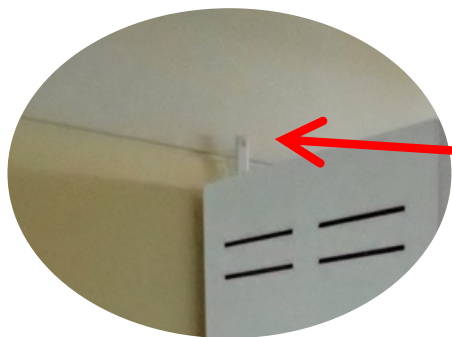



↓棚の上に置かれた
家電製品。 [C 小学校]

棚の上に置かれた物は地震時などに落下の危険があります。
整理整頓によって、不要なものはできるだけ廃棄するとともに、特に重量物については棚の低い部分に収納するなどの工夫が求められます。



棚などの転倒危険①



 以前は利用されていたと思われる固定用金具が、ロッカーの移動後は利用されていない。
[I 中学校]



金具・針金を用いた固定の例
[D 高等学校]



この対策は、天井裏の状態を確認し、ポールによって掛かる力を受けられる場所を選ぶことが重要です。

高さのある棚、ロッカーなどについては、地震時などにおける転倒防止のため固定することが必要です。特に、緊急時の避難経路にあたる通路・出入り口の付近にある什器については、たとえ軽いものであっても避難の妨げとなるため、確実に固定します。



耐震ポールによる対策例 [J 特別支援学校]

棚などの転倒危険②



2段重ねの棚が連結されておらず、壁への固定も行われていない。
[J特別支援学校]

2段重ねの棚は、上段の棚が落下することで大けがにつながるおそれがあります。上下の棚を連結するとともに、壁などに固定して転倒を防止することが必要です。



上下の棚を連結するだけでなく、壁への固定も同時に行うことが重要です。上下2段に重ね置きすること自体を取り止めれば、抜本的な対策となります。



←2段重ねの棚を
前面で金具により連結。
[D高等学校]

棚などの転倒危険③



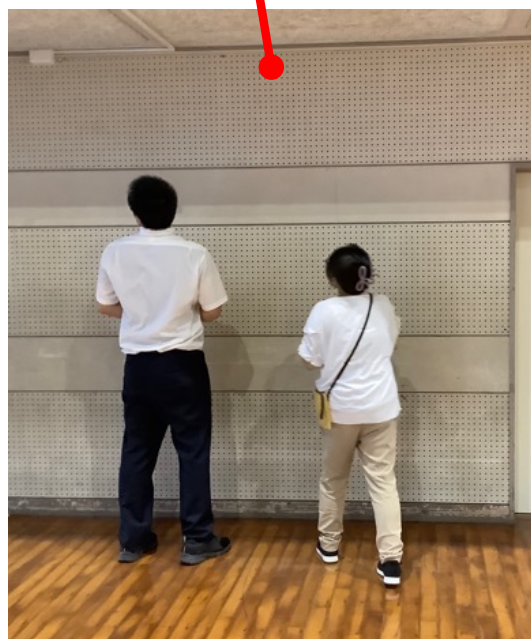
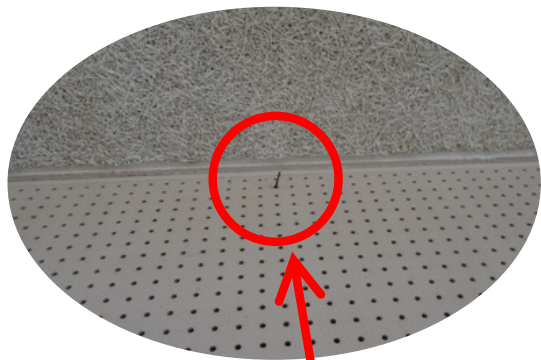
縦に立て掛けて収納されている看板
[I 中学校]

看板などの大きな物を立て掛けて置く場合は、縦置きではなく横置きとすることで、転倒などによるリスクを軽減することができます。



横置き収納の例
[D 高等学校]

壁面などの突起物



⚠️ 体育館の壁面上部に、過去に掲示物などで用いたと思われる釘が残っていた。 [H小学校]



⚠️ 体育館の壁面にネット等をつける金具が出ている。
(使用していない時はカバー等を付けるなどの対応が望まれる。)

[I 中学校]



⚠️ タオル掛けのフックは、付近で園児が転んだ際などに、顔面（目など）を傷つけるおそれがある。
小型のカラビナや洗濯ばさみなど、先端部のないものを使うことが望まれる。

[G幼稚園]

壁面などからの突起物は、その位置によっては、児童生徒等の顔面に当たる危険があります。特に、幼稚園・こども園では、身長の高い幼児等が動き回ることによって突起物が危険をもたらすことに留意が必要です。

危険箇所等への立入禁止措置



😞 階段への立入禁止を示す看板
(脇を通り抜けることができってしまうため、階段にもチェーン等を渡すことが望ましい)

[I 中学校]

立入禁止措置は、看板などによる表示だけでなく、施錠やチェーン、柵などの措置により、物理的にも入りにくくすることが望まれます。



😞 ↑防球ネットに注意書きを貼るのみとなっている。

階段下の位置から立入禁止で→あれば、下のバリケードにも注意書きをしておくことが望ましい。

[いずれもC小学校]



非常口・非常扉付近の障害物



↑ 非常口の内側に、臨時的に置いた
機材等が残されている。

非常口手前に置かれたロッカーは、→
固定されておらず、上に大きな荷物
も載せられている。

[いずれもA小学校]



園庭への避難経路となるサッシ戸の
向こうにプランターが置かれている。
[E幼稚園]

非常扉・非常口の前は、常に通路を確保することが重要です。
障害物を置かないほか、地震等で転倒するおそれのある什器等の転倒防止も行い、
安全点検でこれらを確認する必要があります。

キャスター付ラック等の移動・転倒危険



←教室内の大型ディスプレイは、キャスター付きラックに載せられていることが多く、ストッパーなどで動きにくくしておかないと、地震の揺れで大きく動き回る危険性がある。
[A小学校]



比較的軽いものを入れたラックも、地震の揺れに伴って室内を動き回り、児童生徒等の恐怖心を強めることが想定される。

[G幼稚園]

大型ディスプレイなどのキャスター付きラックは、地震の揺れで室内を大きく移動して、周辺にぶつかったり転倒したりするおそれがあります。
このため、移動作業中以外は、常時確実にストッパーをかけておくこととし、これを安全点検で確認することが望まれます。

ロープ等による頸部圧迫危険



遊具に取り付けたロープ等は、高さによっては幼児の首に巻き付いて窒息を招くおそれあり。
[E幼稚園]



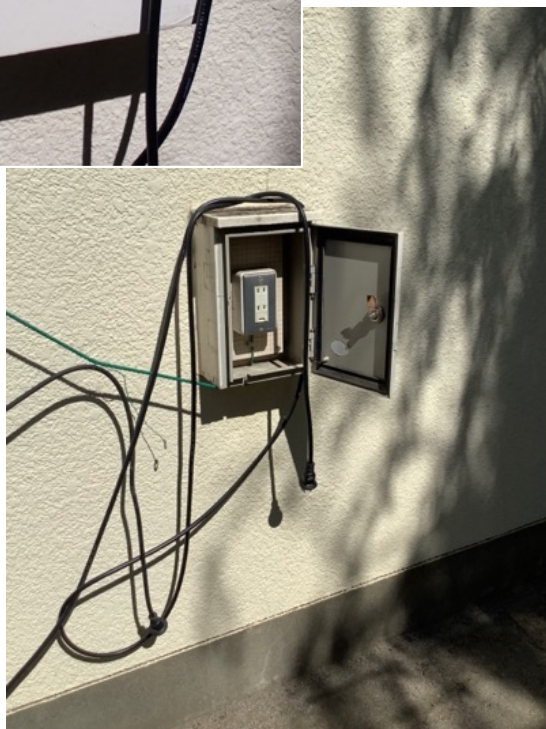
ロールカーテンのロープは、開閉時以外は常に高い位置で結んでおく。
[G幼稚園]



旗掲揚ポールのワイヤーは、使用時以外は常に巻き付けて固定。
[E幼稚園]

ロープ、ワイヤーなどは、児童生徒等の頸部にからまって窒息事故を引き起こす原因となるため、使用時以外は（できれば高い位置で）常に短くまとめておく必要があります。

感電・漏電危険



「使用後は施錠」とされているにもかかわらず、施錠されていない屋外コンセント。

[I 中学校]



家庭用の延長コードを継続的に屋外で使用。

[I 中学校]



せっかくのカバーが活用されていないコンセント。

[B 幼稚園]

電源をとるためのコンセントは、埃などが入ることによって短絡・火災の原因となったり、濡れた手で触ったことによる感電を引き起こしたりします。

屋外のコンセントはもとより、室内でも使用していないものはカバーを付けるなど、感電・漏電対策を確実にすることが望まれます。

[良好事例] 安全点検に関する研修の実施

[H小学校で行われた市教育委員会主催の安全点検研修]

市内の各学校から担当者が集まって、
モデル校における安全点検の方法等を
学び合い・協議

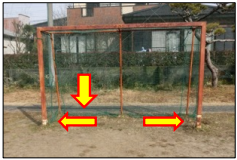


[良好事例] サッカーゴールの点検方法

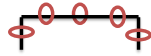
[H小学校]

サッカーゴールとハンドボールゴールの杭の位置

ハンドボールゴール(北)

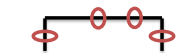
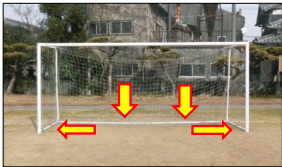


ハンドボールゴール(南)

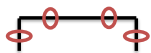
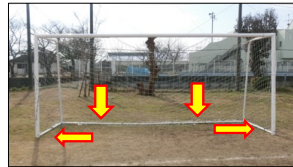


杭のゆるみも
確認しましょう。

大サッカーゴール(北)



大サッカーゴール(南)



見つけた杭
に○をつける。

点検箇所・点検方法などについて、写真入りのマニュアルでわかりやすく具体的に示している。



サッカーゴール(大)のワイヤーの位置

大サッカーゴール

